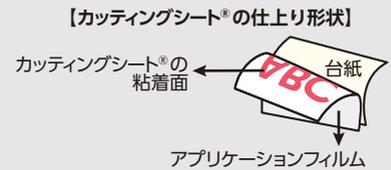


カッティングシート®の貼り方

アクリル・ガラス編



▶▶▶ドライ貼り

カッティングシートを貼る際に水を使わずそのままの状態です。主に水が使えない被着体や環境に用います。

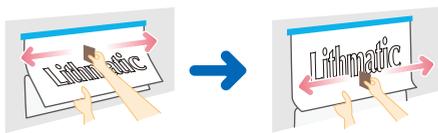
<用意するもの>

スキージ・マスキングテープ

①貼る場所（被着面）の汚れ・ほこりを清掃し、貼る場所を決めてマスキングテープで仮止めをします。



③台紙をはがしながらスキージで内側から外側に向かって、圧着させるようにゆっくりと強くこすります。



○メリット

水を使わないので短時間で貼り付けられます。小さな切り文字などにおすすめです。

✕デメリット

貼り付け後、位置修正などができません。気泡が残りやすい。

②位置が決まったら左右位置をマスキングテープでしっかり止めて固定します。シートの台紙を少しだけめくって折り返し、折り返した部分から貼っていきます。

※ドライ貼りの場合、位置修正ができませんのでご注意ください。



④圧着したらアプリケーションフィルムを端からゆっくりとはがしていきます。



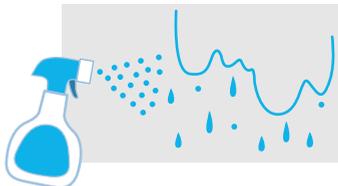
▶▶▶水貼り

水を使って貼る方法を「水貼り」と言います。主に位置調整が必要な場合や、透明色など気泡やムラが気になるような素材の場合に用います。

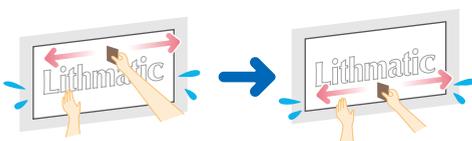
<用意するもの>

水・中性洗剤・霧吹き・スキージ・マスキングテープ

①貼る場所（被着面）の汚れ・ほこりをきれいに清掃後、全体に水または中性洗剤を数滴入れた洗剤液を霧吹きでスプレーします。洗剤液…市販の中性洗剤（食器用洗剤など）と水を約 1：50 の割合で混ぜたもの。



③表面（アプリケーションフィルムの面）にも洗剤液をスプレーし、スキージで内側から外側に向かって、シートと被着面の間にある水・空気を抜き圧着させるようにゆっくりと強くこすります。終わったらシートや周辺の水を拭き取ります。



○メリット

水が乾くまでの間、貼る位置を調整・修正できます。大型のシートにおすすめです。

✕デメリット

貼り付けてから乾燥するまで時間がかかる場合があります。

②シートの台紙をはがし、シートの粘着面に洗剤液をスプレーします。シート滑らせながら貼る位置を調整し、位置が決まったら左右位置をマスキングテープでしっかり止めて固定します。



④圧着して、水が乾いたらアプリケーションフィルムを端からゆっくりとはがして完成です。



※別途施工も承ります。詳しくはお問い合わせください。

Lithmatic